

大道芸アジア月報 2021 年 2 月

vol. 32, no. 2

編集・発行人 上島敏昭

〒165-0025 東京都中野区沼袋 2-31-2

春山荘・東

■大道芸案内

主な大道芸スポット（土・日・祝日など、通年大道芸が見られるポイント）

■大阪・天保山海遊館広場 <https://www.kaivukan.com/thv/marketplace/>

■大阪パフォーマーライセンス <http://www.osaka-performer.com/index.php>

■名古屋・大須ふれあい広場 ■名古屋 POP UP ARTIST <http://popup-artist.com/index.html>

■しずおか大道芸の街 <http://shimarukai.org/> ■江ノ島大道芸 <https://www.fujisawa-kanko.jp/feature/daidoge.html>

■ヨコハマ大道芸（山下公園、グランモール公園、ジャックモール） <http://daidoge.jp/>

■お台場・デックス東京ビーチ ■みなとみらい東急スクエア ■テラスモール湘南 www.studioeggs.com

■東京都へブンアーティスト www.seikatubunka.metro.tokyo.jp/bunka/

■仙台まちくるパフォーマーズ <https://machi-kuru.com/performers>

※現在、緊急事態宣言により、多くの会場が活動を自粛しています。それぞれ確認してください。

★今月の大道芸公演

※新型コロナウイルス緊急事態宣言により、多くの催しや公演が中止・延期になっています。HPなどをご確認ください。

△演芸資料展「見世物の近代」 <https://www.ntj.jac.go.jp/engei/event/808.html> ○国立演芸場展示室

●12月1（火）～3月21（日）10：00～17：00

国立演芸資料室所蔵資料による文明開化から明治時代の見世物資料を展示

入場無料

△たのしいパントマイム in ぎふ <https://ticket.corich.jp/apply/110355/> ○ぎふ清流文化プラザ・長良川ホール

●2月8（月）14：00

バーバラ村田、加納真実、シルブプレ、カナルペキノワ、Mr.BUNBUN

入場無料

チケット予約：<https://ticket.corich.jp/apply/110355/> 予約フォーム

△チカ☆パ THE FUNAL <https://chika2spot.jimdofree.com/the-final/> ○チ・カ・ホ北三条交差点広場

●3月14（日）9：11：00 ごろ～

双子パフォーマーPluto、パフォーマー刹那、Entertainer MIKIYA、アッキー、福井陽翔人、ヴァイオリニスト斉藤航、大道芸人 千里、パフォーマーKEITA、performer rui、大道芸人 SATOYA

△第14回うつのみや大道芸フェスティバル <https://www.utsunomiyadaidoge.com/> ○宇都宮市・オリオンスクエアかいわい

●3月20（土）21（日）【延期】⇒7月31（土）-8月1（日）

Funny Bones、加納 真実、荒木 巴、山本 光洋(20のみ)、りずむらいす、SUKE3&SYU、スマイルパフォーマーQちゃん、

ぱふおーまーまめ、ジェンガ金次郎、渡邊 翼、バルーンパフォーマーさくら、ta2、金鳩団の異次元くるくる、bubble Artistkiki、

加藤みきお&ひろみち、柳貴川 起助、MESSE(メッセ)、クリオーネ

△第13回高円寺びっくり大道芸 2021 <https://www.koenji-daidoge.com/2020/> ○高円寺駅周辺

●4月24（土）25（日）

若林正の

食って極楽

やっぱ羊は、んまい！

・・・浦和「カルニチン堂」

小さい頃夕食にバーベキューと称して羊肉が出てきたことがあり、その時は「なんだか臭くて不味いなあ」とあまり食べなかった覚えがある。当時はマトン肉＝成長しきった大人の羊で、羊毛を刈り取った羊が肉として売られているという話を聞いたような気がする。ホントかどうかは知らんけど。処理や保存が今とは違って丁寧ではないのもあったろうけど、その頃のマトン肉はホントに臭かった。

ここ最近では、低カロリーだの太りにくいなので、羊肉が流行っているが、マトンではなくラムという子羊の肉が主流。柔らかくて、かつてのような癖が全くない。このところ週に一度は浦和に散歩に出かけているが、先日浦和駅西口すぐのジンギスカン屋でランチを食したので報告。

前々から看板が気になった店、カルニチン堂。実はこの店のランチは今回が二度目。ここのラム肉はホントに美味。冷凍ではなく生肉を使って以前書いた蔵の店とは段違い。女房と二人、ラム 200g 野菜付きジンギスカン ¥1480 を注文。一人 200g はそこそ食いである。

文句つけるならタレが薄くてモノ足りん、キムチちょびっと過ぎ、みそ汁もろインスタント、くらいか？でも肉の美味さがそれらを上回るからよしとしよう。ただ女房が言うには、美味しいけど昔の臭いマトンが懐かしい、とのこと。私もふとそんな気がするところがあるのは、年取った証拠だろうか？



○ここなら食べ放題にチャレンジ出来るかも 度＝7ワカ

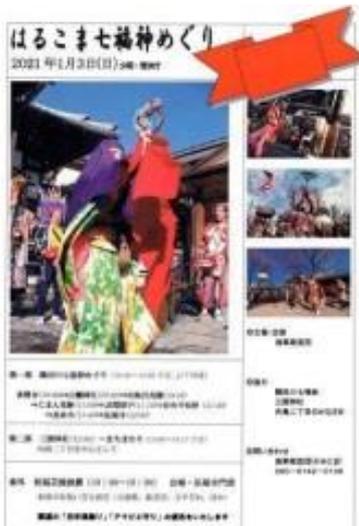
コロナ禍中のはるこま七福神めぐり

上島敏昭

本年1月3日、例年どおり向島での「はるこま七福神めぐり」をおこなった。コロナ大流行の真ただ中。政府からも東京都からも「初詣も含めて、なるべく外出はしないように」との要請が繰り返しアナウンスされていて、正直なところビクビクしながらの催しとなった。コロナ対策を講じながらの実演である。その後も関係者に感染が出たとは聞いていないので、まずは一安心というところ。今回は、コロナ禍でのこの催しの報告をしておきたい。

◆隅田川七福神との打ち合わせ

浅草雑芸団の「はるこま七福神めぐり」は、現在、隅田川七福神の関連イベントという位置づけにしている。隅田川七福神、例年は、決起集会ともいべき食事が、11月初旬に行われ、そこで親睦をふくむ情報交換が行われる。今年は10月12日に、メールが届き、「16日に七福神の打ち合わせがあるが、そちらの考えを知りたい」という。メンバーにも諮る前だったので、「メンバーに相談するが、可能ならば、対策を講じつつ行いたい」と返信し、一方、メンバーには、この取組についての意向をメールで尋ねた。全員から参加したいと返答があった。数日後、七福神側より連絡があり「話し合った結果、雑芸団の行事は原則了承だが、方法についてはそれぞれの寺社と個々に相談してほしい」とあり、神社界のコロナ対策ガイドも添付されていた。



そこで当方は、演者全員のマスク着用、演場も境内が狭ければ門外でおこない、演目も春駒だけとすること、町内門付けは再度相談することを、メンバーに確認したうえで、11月初旬、向島に出かけて、各寺社を訪問して、催しのお祝いとそのやり方を確認した。ありがたいことに、いずれも「例年通りにやってください。密にならないよう注意してください」とのお答えをいただいた。町内門付けについては、例年門付けしているお店を通じて、町内会長さんに伺ってもらったところ、町内会としては問題ない、それぞれのお宅と打ち合わせてほしいとの答えをいただいた。まずは一安心である。ここまでは順調だった。

◆ますますコロナ禍は拡大

メンバーが頻繁に会うこともできないので、稽古はできないので、新たな演目は増やさない。春駒だけにしぼることにした。また、例年みなで作成する福飾りも、集まることができないので、私個人で作成をはじめた。



ところがコロナ感染はその後もどんどん拡大し、都と政府が会見を重ねるがそのたびに、危機感はますます増大していく。状況が安定してから町内へお願いに…とと思っているうちに、タイミングを逸し、結局、「時間切れ」という感じで、12月22日に、寺社も含め、全戸、お願いにうかがった。これによって最終的に行程が確定した。

すなわち、順路は、例年とおおり。最北の多門寺から、白鬚神社⇒向島百花園⇒じまん草餅⇒言問団子⇒さくら餅⇒長命寺⇒弘福寺⇒三囲神社。その後町内を回る。着替えと休憩は、弘福寺会館を使用させてもらう。しかし例年の演芸会・福引会は行わず、弘福寺会館前の駐車場で、福飾りを販売しつつ、新年を祝う紙芝居や三味線音楽なども時間を決めて実演する。新年会も例年のようには行わず、実演終了後は希望者だけで、食事会を行うとした。なお、

福飾りは、毎年150本ぐらい作るが、今回はまったく頒布数がつかめないの、とりあえず100本だけ作った。

しかし、12月22日以降も状況はますます悪化の一途。不安なので、新年の一月一日、もう一度隅田川七福神を訪ねた。一点の曇りもないような快晴。考えてみれば、こうして隅田川七福神めぐりをするのは初めてかもしれない。寒いけれど気持ちがいい。しかし初詣というより状況の確認目的だからなんとも複雑な気持ちだ。やはりどの寺社もかなり参拝者は少なく、歩いている人も少ない。それぞれの寺社に挨拶して、3日に春駒でうかがう旨をお伝えした。いずれの寺社も「待ってます」と言ってもらえてホント嬉しかった。天気さえよければ成功するに違いないと確信した。

◆当日

当日は朝8時に弘福寺に集合し、控室で着替え、準備をおこなって、9:30、レンタカーに乗りこんで、七福神めぐりに出発した。例年とおおり多門寺から順繰りに回っていく。天気はいいし、雰囲気は例年と変わらない。ただ参拝者は少ない。予定通り、山門前で春駒だけを披露して、次にむかう。毎年、福飾りを頒布するために、いろいろ行うのだが、それを省くのですぐに終わる。同様に白鬚神社、百花園とすすむ。白鬚神社では、お祓いをしてもらい、「神霊」をいただいた。百花園は、東京都管轄なので閉鎖。そこで福祿寿尊祠を門外に仮祀りする特別バージョンである。こういうことがあると、例年より有難味がある。こうしてすべての行程を終えたのが14:00過ぎ。以降は弘福寺駐車場で初春の祝福芸披露となった。天気もよく多くの知り合いも訪ねてくれて、例年ほど賑やかではないものの、よい新年祝いとなった。

その二日後ぐらいに再度の「緊急事態宣言」が出された。おそらく宣言下であろうと実行したとは思いますが、ギリギリ逃げ切ったようなコロナ禍中の「はるこま七福神めぐり」であった。

